

共済の今日と未来を考える懇話会

「共済を守る全国市民集会」とデモ行進を実施

共済の今日と未来を考える懇話会（以下、懇話会）は11月23日、東京都渋谷区の宮下公園で「共済を守る全国市民集会」を開きデモ行進を行った。新保険業法による「自主共済規制の撤廃」と「経過措置期限の延長」を要求して行われたもので、全国から約400人が参加。懇話会の超党派での適用除外等の実現を求める活動に対しては、国会議員からの理解と協力も広がっており、11月1日には民主党から議員立法が参議院に提出されている。また懇話会は、すでに全国20都道府県で展開しており、さらに増える予定。

集会には、日本勤労者 華街をデモ行進し、通行山岳連盟、全国保険医団 人などに訴えた。

また、同日には、懇話会が実施した「新保険業法と各団体が実施する共済等に関する団体アンケート」の結果も公表した。

アンケートは、9月5日～20日の間で実施。インターネットで検索した共済を実施していると思われる約150団体にアンケート用紙を送付し回収したもの。アンケートは、NPO法人、公益法人、社会福祉法人、協同組合組織などを対象に、「業法改正に関連する動

向」を調査した。アンケートは、NPO法人、公益法人、社会福祉法人、協同組合組織などを対象に、「業法改正に関連する動

きを知っているかどうか」を中心質問を構成。回収数は27と少なかつたが、結果からは、「保険業法改正を知らない団体もあった。これまでに以上に周知に力を入れるべきことが一層はつきりしてきた。経過措置期限の2008年3月31日についても知らない団体があるので、国からの周知徹底の必要性も大きく感じた」（懇話会）という。

また、「ほとんどの団体が、懇話会との連携を深め協力したいとしているため、懇話会としての励みにもなった」という。

現在までに「懇話会」ができていない都道府県は、北海道、東京、千葉、山梨、新潟、愛知、滋賀、奈良、大阪、兵庫、広島、徳島、福岡、宮城、神奈川、福島、青森、島根、和歌山、京都、年内には、三重、長野、鹿児島で発足する予定で、近く発足する県には、岩手、群馬、埼玉、石川、富山、山口、宮崎、香川、愛媛などがある。

今後、注目されるのは議員立法の行方。懇話会では今後、「国会行動や国会議員懇談会などを再度行いたい。3月31日が近づいているので、年明けには金融庁に適用除外と期限の延長を迫りたい」と考えた。



東京・渋谷区の公園で集会を開き、周辺繁華街をデモ行進